

新「揖斐川町」の誕生を祝う

新「揖斐川町」誕生記念式典が七月一日（金）、揖斐川町中央公民館で開かれ、合併による新「揖斐川町」の誕生を祝い、同時にこれからのまちづくりへの決意を新たにしました。

式典には国や県、近隣市町村の首長や関係者、県議会議員、町議会議員、町内各地の行政推進委員など約三百人が出席しました。



式辞を述べる宗宮町長

町長あいさつ

去る平成十七年一月三十一日、六町村が合併し、新「揖斐川町」が誕生しました。これもひとえに、国・県の関係者をはじめ、旧六町村議会議員、合併協議会委員、そして何よりも旧六町村住民の皆さまのご理解とご協力の賜物であり、心より厚くお礼、並びに感謝申し上げます。

新「揖斐川町」は、緑豊かな森林を有し、きれいな水、澄んだ空気、美しい景色を提供しています。また、伊吹山の山麓地域は薬草の宝庫であり、古くから活用されてきました。さらに、新町は歴史的遺産が豊富であるとともに、古くから北陸、関西方面との交流が行われ、多様な伝統文化が育まれています。これらを活用し、各地域がそれぞれの個性を生かし、揖斐川源流域の責任と誇りを持って、人と自然が共生し、活力に満ちた、健康で文化の薫るまちづくりを進めるため、新町の将来像を「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」としました。

新町は、西は滋賀県へ抜ける八草トンネルが開通し、北は福井県へ抜ける冠山トンネルが早期整備への動きを加速させています。近い将来、岐阜県の近畿圏、北陸圏への新たな玄関口として、人や物が行き交う交流の盛んな地域に変わっていきます。このため、豊かな自然、その恵みを巧みに利用した先人の知恵、歴史が育んだ伝統文化などの既存資源と、

現在建設中である徳山ダムなど、新たに整備される観光資源を相互に連携させ、それぞれの魅力を高めることにより、観光交流産業の振興を図る所存です。

また、特産の自然食品、マラソンなど、健康に関する地域資源を、健康をテーマに組み合わせ、魅力を高めて提供するとともに、新たな資源の開発にも積極的に取り組み、既存産業の振興と健康産業の振興、企業の誘致による雇用の拡大を図る所存です。

こうした地域経済活性化の基盤整備として、三つの重点プロジェクトである「地域情報ネットワークの確立」「道路ネットワークの整備」「公共交通ネットワークの整備」を進めていきたいと考えています。

「人づくりはまちづくり」と申します。人と人が繋がって地域がつくられ、その地域の広がりやまちづくりになると考えています。新町のまちづくりにおいては、住民の皆さまとの対話を通じ、「人づくりはまちづくり」の観点に立ち、住民の皆さまの立場で考え、ともに歩む姿勢で町政を進めていく所存です。そして、新「揖斐川町」が「住んでみたい」「住んでよかった」と言われるまちにしていきたいと考えています。

今後も引き続き、新「揖斐川町」の更なる飛躍と発展に向け、なお一層のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。